

教科・科目		対象学年	単位数	教科書（発行者）	補助教材（発行者）
保健体育・保健		2年	1	現代高等保健体育改訂版（大修館書店）	図説 現代高等保健 改訂版（大修館書店）
科目の概要と目標		個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や態度を育てる。			
授業の進め方		<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書や配布するプリントを中心に授業を進める。</li> <li>項目によって、調べ学習とプレゼンテーションを行う。</li> </ul>			
評価の観点と方法		<ul style="list-style-type: none"> <li>「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から評価を行う。</li> <li>毎学期末考査、レポートの提出状況、授業の取り組みを総合的に評価する。</li> </ul>			
	学期	単元・学習項目		学習内容・到達度目標	
年間 の 授 業 内 容	1 学 期	2単元 生涯を通じる健康  1 思春期と健康 2 性意識と性行動の選択 3 結婚生活と健康 4 妊娠・出産と健康 5 家族計画と人工妊娠中絶 6 加齢と健康 7 高齢者のための社会的取り組み 8 保健制度とその活用  9 医療制度とその活用		1・2 思春期の性について、男女間の意識の差違や、適切な行動について話し合う。 3 結婚の条件を話し合うことにより家庭生活の意味を理解する。 4・5 妊娠から出産のプロセスを理解し、祝福される出産について考え、その為に何をすべきか話し合う。 6・7 高齢化社会について理解し、自らも健康に歳を重ね、現在の社会の中で自分たちに何が出来るのかを考える。 8 健康のために行政が行っているサービスを調べ、正しく活用する方法を知る。 9 医療制度について正しく理解し、身近な市町村で実施されているサービスを調べ、その活用方法を知る。	
	2 学 期	2単元 生涯を通じる健康 10 医薬品と健康 11 さまざまな保健活動や対策  3単元 社会生活と健康 1 大気汚染と健康 2 水質汚濁・土壌汚染と健康 3 健康被害の防止と環境対策 4 環境衛生活動のしくみと働き 5 食品衛生活動のしくみと働き		10・11 医療制度について正しく理解し、身近な市町村で実施されているサービスを調べ、その活用方法を知る。  1・2 「大気・水・土」が私たちの生活に及ぼす影響を知り、自らができる環境対策について考える。 3・4 環境に関する社会的なシステムについて理解する。  5 食品衛生について知り、食中毒を予防する方法を知る。企業の食品衛生活動について調べ、理解する。	
	3 学 期	3単元 社会生活と健康  6 食品と環境の保健と私たち 7 働くことと健康 8 労働災害と健康 9 健康的な職業生活		6 食品の安全性を確保したり、環境を汚染したりしない取り組みを知り、自分自身に求められる役割について話し合う。  7～9 労働環境と安全について調べる。職業病とその予防について考える。	